



「尖頭器」とは主に旧石器時代に使われた狩猟具です

旧石器ハテナ館
史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館
TEL042-777-6371
平成21年9月1日
【創刊号】

ようこそ！旧石器ハテナ館へ

田名向原遺跡は、平成9年の国内最古の住居状遺構の発見により、旧石器時代の歴史を語る上で欠くことのできない貴重な遺跡として、平成11年に国指定史跡となりました。相模原市は、この貴重な遺跡を保存・活用するため、史跡指定地を含む約8,218㎡を公園として整備し、また、平成21年4月には遺跡に親しみ、理解を深めることのできる「史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館」（愛称「旧石器ハテナ館」）を開館しました。

この度は、田名向原遺跡の普及を図り、より多くの方に利用・活用していただくため、通信紙を発行することとなりました。今後も定期的に通信紙を発行し、主催事業などのPRを行ってまいりますので、ぜひご参加いただき、みなさま自身で旧石器時代のなぞ（？）を探りにお越しくください。

体験教室のようす ～八月の体験学習の紹介～

旧石器ハテナ館では様々な体験教室を開催しています。



←矢じり作り(8/2)

本物の黒曜石を使用して矢じり作り。黒曜石が固くてみんな一苦勞。縄文人になりきって一生懸命作りました。



←八瀬川探険(8/22)

学習館の近くにある八瀬川をみんなで探険。ワクワクドキドキの一日でした。

→河原石で遊ぼう(8/23)

河原で探してきた石に色塗り。石にとらめっこしてたら、いろんな形に見えてきたね。



非常勤職員紹介

白井 稔

特技：ものづくりで、特に木工と野菜作り

コメント：私達は来館者が楽しく学べるように補助員としてお手伝いしていきます。

高島 幸子

趣味：読書（藤沢周平等時代ものが好き）、生花

コメント：俳句にはまっています。俳人は、人に非ずとこのですって。ではなに人でしょうか。

久保田 勝志

趣味：綺麗な花の種を収穫し、挿し木等で増やすこと

コメント：石器で豚肉を切り熱した石で蒸し肉料理、味付けは塩のみでした物を味わってみたい。



今後の行事予定



【9月】

12日(土) 講演会「田名向原遺跡に人が来た頃(2万前)の原風景」 講師：町田洋氏

20日(日) 体験教室「勾玉作り」

【10月】

3日(土) 体験教室「ミニチュア土器作り」

18日(日) 体験教室「勾玉作り」

31日(土) 講演会「相模原の大地の成り立ちと相模川」 講師：市立博物館学芸員 河尻清和氏

【11月】

7日(土) 「石切場付近の探訪」 講師：河尻清和氏

15日(日) 体験教室「相模川の石で石器作り」

22日(日) 体験教室「勾玉作り」

—私と学習館—



学習指導員 大塚 靖夫

4月のオープン以来、多忙な日々が続いています。本日、館のたよりが発行出来るようになった事はとても嬉しい事です。当初予想されていた入館者数も遥かに超え、これまた嬉しい事です。

ご存知のように、本遺跡は平成9年5月7日の各紙が「国内最大級の住居跡か」「旧石器の住居・工房跡」等の見出しで大きく報道され、11年1月には国の指定を受けたのです。

私は、田名向原遺跡の整備委員会の委員として平成12年10月に市より委嘱を受け、遺跡の重要性と共に今後の活用の方法について勉強させて頂く機会を得

—学習指導員としての願い—



学習指導員 栗原 敏

これまでを振り返ってみると、オープンしたばかりの頃は団体見学のご案内や、体験教室・講演会の開催等が続き、毎日大忙しでした。もちろんこれは館にとってはうれしいことで、多くのお客様に来館していただけるということに私も大いに喜びを感じています。

最近少し余裕も出てきて、通常業務の合間に自己研鑽ということで石器作りをしています。“体験教室でしっかり指導できるように”という意図もありますが“旧石器人や縄文人に負けなくらいの立派な石器を作りたい!”という思いが強いです。

—学習館のあり方—



学習指導員 佐原 慧

気づけば学習館が開館して、もう半年近くが過ぎようとしています。この期間があまりにも短く感じるほど多忙な毎日を送っています。それも開館してから多くの方々に来館していただいているおかげです。

私は黒曜石で有名な長野県が出身地です。とは言いましても私の近所で黒曜石がとれるわけではありません。唯一近くにあったのは辺りを森で囲まれた小さな博物館だけでした。よく私はその博物館に行き、探検者気取りでウロウロしていたことを覚えています。そのこともあってか、徐々に歴史に興味を抱くようにな

ました。当時の担当は生涯学習部文化財保護課で、全国的にも稀にみる貴重な住居状遺構という事から、第2回の整備委員会では遺跡や遺構に関わる「基本構想の骨子や概要」について検討・審議されました。以降保存や活用等についての具体的な検討がされました。平成16年8月には、市制50周年記念行事の一環として、田名向原遺跡のシンポジウムが開かれテーマは「田名向原遺跡が残してくれたもの」でした。基調講演では安蒜先生が「田名向原遺跡がわたしたちに語りかけるもの」で話され、私は「子供たちが楽しく学べる遺跡公園に」という内容で遺跡への思いと、これ迄の体験や経験を基に提案しました。以後5年が経過し、ここに素晴らしい旧石器の学習館が創設され、若い2人と勤務出来た喜びに感謝しています。

さて、本館は国指定を受けた田名向原遺跡の重要性を周知するために開館しました。また、旧石器時代をメインテーマとする施設は全国的にみても数える程度ですので、本館もその仲間として旧石器時代を概観する重要な施設となると思います。このため、本館に多くの方が足を運んでくださるよう、また何度も来館していただけるよう努力していくのが、私たち学習指導員の役割だと考えています。来館者の方に田名向原遺跡の重要性を理解していただくため、本遺跡をPRしていき、何度も足を運んでいただけるよう様々なイベントを企画していきます。このような館の運営を通して市の文化財を広く周知し、将来に遺していけたらと考えています。今後とも、どうぞ旧石器ハテナ館をよろしく願い申し上げます。

り、未熟ながらもこれまで歴史について学んできました。恥ずかしい話ではありますが、この学習館に勤めるようになってから、初めて「旧石器」という未知の時代に触れるようになりました。毎日が新たな発見の連続であり、日々学ぶことの大切さ・喜びを実感し歴史の面白さを再認識しております。

ご存じの方も多いと思いますが、当館には毎日多くの子供たちが遊びに来ています。中には遊具で遊ぶ子、ぬり絵・クイズをする子、外の楽器で遊ぶ子など様々な子供たちがいます。この学習館はそんな子供たちが「何かに興味を持つ」そのきっかけを与えてあげられる場所でありたいと考えております。私自身、まだまだ力不足ではありますが、今後ともこの学習館共々よろしく願いします。